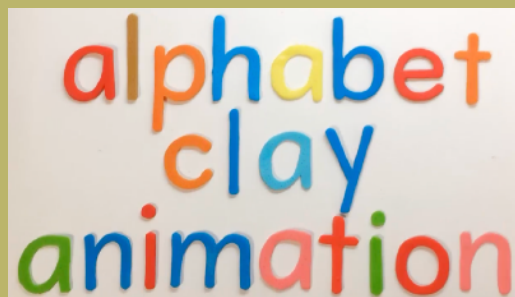
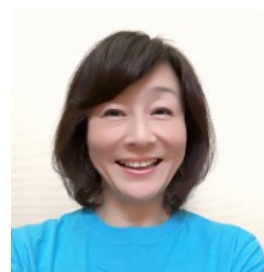


NEW HORIZON Elementary Picture Dictionary 収録

# アルファベット クレイアニメの使い方



学習指導要領の「音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を書き写すことができるようにする」を達成するために、あなたは手本を見せていきなり「書き写」させますか？筆者は長年、学級担任とのチームティーチングを通して指導者の意識改革への喚起、即ち自分たちが受けてきた英語授業のイメージの払拭や、外国語学習の最初の躓きポイントになりうるアルファベットの文字学習を、どの子ども落ちこぼさないような方法で行うことを提唱しています。さあ、クレイアニメの世界に飛び込み、楽しみながらアルファベット文字と仲よくなっていきましょう！

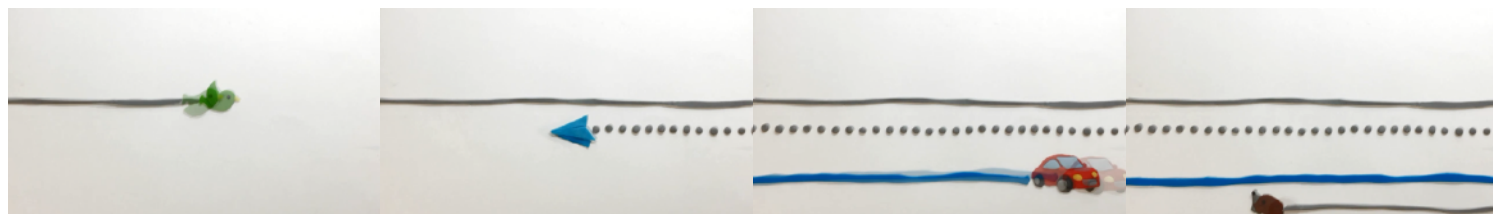


行岡七重 先生

元 枚方市英語教育指導助手  
現 松江市小学校外国語活動指導協力員

## ねらい1 < 4線について知る >

アニメ視聴の前に、ローマ字の時に使った4線の黒板やワークシートなどを見せ、「アルファベットは4線を使って書くんだね。」ということを確認します。平仮名・カタカナ・漢字の練習の時に使う正方形のマス（真ん中に点線で十字の入っている物）を見せて、日本語の文字でも文字の習い初めには同じようなことをしているね。『相手に理解してもらえるような』文字を書くための「助け」に必要なものなんだね。」と伝えます。

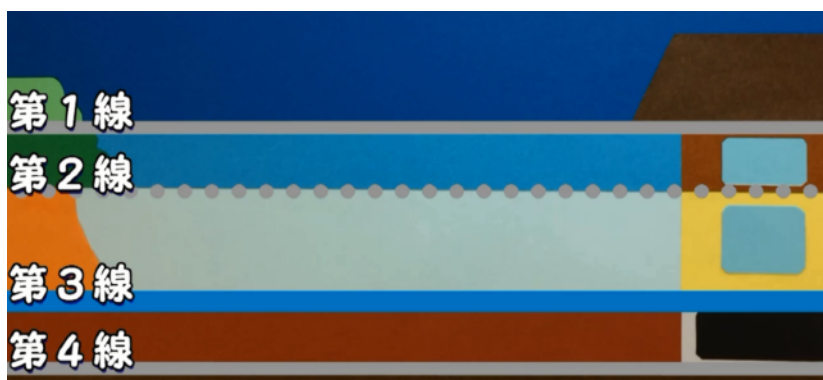


アニメの出だしを見せ、線を引っぱってきている「鳥」「紙飛行機」「車」「もぐら」に注意を向けさせます。第1線～4線と示された画面で一時停止し、右側の家の階層に目を向けさせ、「何階建ての家かな？」と問います。第3線が一階の床、第2線と第3線の間が一階で（第2線は一階の天井）、その上が二階（第1線が二階の天井）とまで説明したら、第4線に目を向けさせ、「地下」の存在に気付かせます。（地下室や！）

「ああ、だからさっき一番下の線をもぐらが引っ張ってきてたんだー。」（第1線が鳥、第2線が紙飛行機、第3線が車、ということもここで納得）



このQRコードからアルファベットクレイアニメを視聴することができます！



**a : apple**

appleが家の一階から転がってきて a の文字が現れ「エイ」と音声の流れたら止め、「aは何階の文字？」と問います。（一階～！）

**b : ball**

ball が家の二階から落ちて一階で止まったところで止め、「b も一階の文字？」と問います。（ちがーう！）「ああ、二階からの長さの縦棒（バット）から書き始めるんだー。だから二階から落ちてきたんだね」と印象付けましょう。（バットも二階から落としたらええねん！）

**c : cat**

cat が左手の木のところから出てきたら、「野良猫ちゃんかな～？」  
「あ、文字は家の中に入っていった！飼い主さん見つかったのかな～」

**d : dog**

dog が家の二階から出てきたら、「縦棒は二階まで伸ばすんだね～」

**g : gate**

gate が地下から出てきたらそこに注目させ、地下の文字のイメージを感じさせます。

**j : juice**

juice で再び地下から出てくる時に「あ、地下から出た！と、いうことは・・・」と想像させ、文字の上部の「・」もあることから「背が高い文字」のイメージを与えます。

**l : lion**

lion が左手の木の高いところから出てきたら、「家の二階におったら怖いわな～」とおどけてみましょう。

**o : octopus**

octopus が木から出てきたら、（なんで木から出てくんねーん）

**p : pig**

pig の鼻水が垂れ、目線が下に行き、地下の文字だと印象づけます。

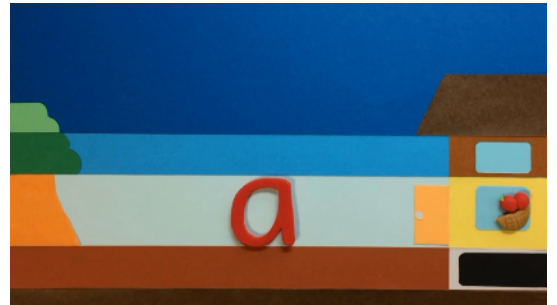
**y : yacht**

yacht 地下室から水が溢れて出てきたら（えらいこっちゃ～）

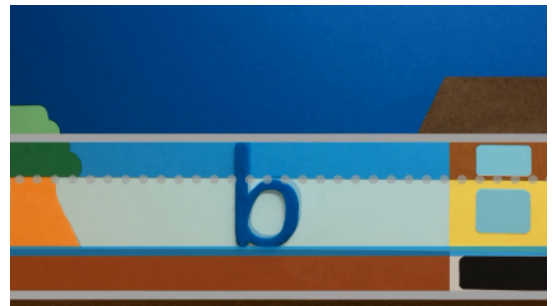
**z : zero**

z が出てきたら皆でカウントダウン！「2」の文字をなぞって「運筆が同じだね」

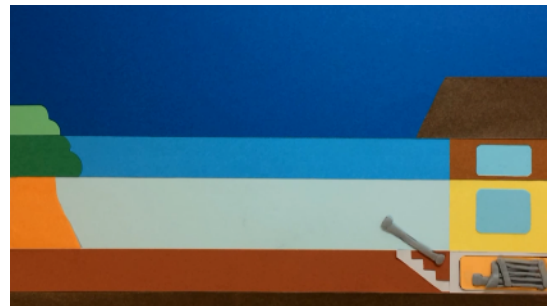
＊そのほかの文字は、各文字のキャラクターが出る場所（階）やそのイメージで印象づけましょう。



一階にあるリンゴが転がり出て a に置き換わります。



アルファベットが表示された後には4線がアニメーションでも表示されます。



地下一階付きの g は、gateの素材が地下から出てくるようになっています。

各文字ごとに、文字が現れたら止め、アニメの動きに従い、画面上の文字をなぞるように書いて見せます「みんなも空書きしてみよう」。慣れてきたら、画面で位置を確認しながら、画面と同じ色で色分けされた4線のワークシートで書いてみましょう。初学者はワークシートをクリアファイルに挟み、消しフェルト付きのホワイトボードマーカーで書くと、ストレスが少なく何度でも練習できます。